



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 サイジニア株式会社 上場取引所 東
コード番号 6031 URL <https://scigineer.com>
代表者(役職名) 代表取締役会長兼COO(氏名) 吉井 伸一郎
問合せ先責任者(役職名) 取締役社長兼CEO(氏名) 山崎 徳之 (TEL) 050-5840-3147
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	598	△45.9	△13	—	△18	—	△47	—
2023年6月期第2四半期	1,107	1.1	4	△94.1	△0	—	△5	—

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 △47百万円(—%) 2023年6月期第2四半期 △5百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	△4.59	—
2023年6月期第2四半期	△0.47	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記では、2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純損失を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,353	733	30.9
2023年6月期	2,595	801	30.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 726百万円 2023年6月期 793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、2024年6月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。株式分割を考慮しない場合の2024年6月期(予想)の1株当たり期末配当金は8.00円となります。

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	△26.1	470	23.4	455	20.8	270	3.6	26.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 当社グループは、業績管理を年次で行っていることから、連結業績予想のみを開示しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 2024年6月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しています。株式分割の影響を考慮しない場合の2024年6月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は52円62銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期2Q	12,799,428株	2023年6月期	12,785,292株
2024年6月期2Q	2,523,680株	2023年6月期	2,523,526株
2024年6月期2Q	10,265,587株	2023年6月期2Q	12,760,946株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3、「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の対策が進み、経済社会活動の正常化によって個人消費やインバウンド需要により景気は持ち直しつつあるものの、長引くロシア・ウクライナ戦争に続くイスラエル・ハマス紛争の影響による原油価格の高騰と、円安を背景とした物価上昇等、経済の先行きに係る不確実性は依然として高い状況が続いております。

このような環境の下において、非接触型ソリューション需要の高まり等から当社が関連する国内BtoCのEC市場は拡大傾向にあり、「令和4年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）」によりますと、令和4年の日本国内のBtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は、22.7兆円（前年20.7兆円、前々年19.3兆円、前年比9.91%増）に拡大し、日本国内のBtoB-EC（企業間電子商取引）市場規模においても420.2兆円（前年372.7兆円、前々年334.9兆円、前年比12.8%増）に拡大しました。

また、EC化率は、BtoC-ECで9.13%（前年比0.35ポイント増）、BtoB-ECで37.5%（前年比1.9ポイント増）と増加傾向にあり、商取引の電子化が引き続き進展しております。

そのような状況の中、当社は従来どおりマーケティング活動に注力し、ECサイト等におけるCX・DXソリューションの重要性についての啓蒙活動及び商品認知の向上を目指してマーケティングイベント等への参加をいたしました。

このような環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高については、連結子会社であるZETA株式会社（以下「ZETA」という。）の提供する「CX改善サービス」は、前年同期比で大きく伸長しました。しかし、当第2四半期連結累計期間の営業利益については、例年「CX改善サービス」の主力商品であるZETA CXシリーズの費用が先行して発生し、第4四半期に売上高が集中することから、第2四半期連結累計期間は営業損失となる傾向にあります。

また、構造改革の一環として当社の連結子会社であるデクワス株式会社が運営していたネット広告サービス事業を、2023年6月26日に開催の取締役会決議に基づき、2023年7月1日をもって株式会社ジーニーに譲渡いたしました。この事業譲渡により、売上高が前年同期と比較して減少しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は598,927千円（前年同期比45.9%減）、営業損失は13,308千円（前年同期は4,514千円の利益）、経常損失は18,179千円（前年同期は34千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は47,169千円（前年同期は5,995千円の損失）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末より165,648千円減少し、1,663,265千円となりました。その主な内訳は、売掛金が203,275千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末より77,028千円減少し、674,697千円となりました。その主な内訳は、顧客関連資産が38,500千円、差入保証金が25,241千円それぞれ減少したことによるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産は、前連結会計年度末より291千円増加し、15,217千円となりました。その内訳は、主にZETAの社債発行費の増加によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末より138,233千円減少し、592,675千円となりました。その主な内訳は、未払法人税等が61,641千円、買掛金が31,798千円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末より36,277千円減少し、1,026,952千円となりました。その主な内訳は、長期借入金58,568千円減少した一方で、社債が36,000千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より67,873千円減少し、733,552千円となりました。その主な内訳は、資本剰余金が23,049千円、利益剰余金が47,343千円それぞれ減少したことによるものであります。

なお、2023年9月28日開催の第18期定時株主総会の決議に基づき、その他資本剰余金25,654千円を原資とした剰余金の配当を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期通期の連結業績予想につきましては、2023年8月14日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

また、合わせて本日開示した決算説明資料もご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,166,870	1,214,113
売掛金	599,290	396,015
仕掛品	14	229
原材料及び貯蔵品	377	377
前払費用	58,139	23,222
その他	4,220	29,307
流動資産合計	1,828,914	1,663,265
固定資産		
有形固定資産		
建物	37,073	26,210
減価償却累計額	△16,555	△16,219
減損損失累計額	△4,255	-
建物(純額)	16,263	9,991
工具、器具及び備品	119,433	125,661
減価償却累計額	△55,526	△60,355
減損損失累計額	△48,944	△48,944
工具、器具及び備品(純額)	14,962	16,361
リース資産	12,735	12,735
減価償却累計額	△9,011	△9,361
減損損失累計額	△2,032	△2,032
リース資産(純額)	1,691	1,341
有形固定資産合計	32,916	27,694
無形固定資産		
のれん	4,407	4,140
顧客関連資産	635,250	596,750
その他	126	99
無形固定資産合計	639,784	600,989
投資その他の資産		
敷金	38,177	37,461
繰延税金資産	15,060	8,152
差入保証金	25,241	-
その他	545	399
投資その他の資産合計	79,024	46,013
固定資産合計	751,725	674,697
繰延資産	14,925	15,217
資産合計	2,595,565	2,353,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,360	13,561
1年内償還予定の社債	248,000	288,000
1年内返済予定の長期借入金	124,156	120,646
リース債務	776	781
未払法人税等	94,098	32,457
契約負債	86,211	88,072
資産除去債務	12,400	-
その他	119,907	49,156
流動負債合計	730,909	592,675
固定負債		
社債	648,000	684,000
長期借入金	194,378	135,810
リース債務	1,119	726
繰延税金負債	219,732	206,415
固定負債合計	1,063,230	1,026,952
負債合計	1,794,139	1,619,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	77,166	79,771
資本剰余金	1,519,561	1,496,511
利益剰余金	193,994	146,651
自己株式	△996,798	△996,883
株主資本合計	793,924	726,051
新株予約権	7,501	7,501
純資産合計	801,425	733,552
負債純資産合計	2,595,565	2,353,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	1,107,772	598,927
売上原価	649,570	173,768
売上総利益	458,202	425,158
販売費及び一般管理費	453,687	438,466
営業利益又は営業損失(△)	4,514	△13,308
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	1	1
助成金収入	666	551
為替差益	-	150
雑収入	186	337
営業外収益合計	863	1,048
営業外費用		
支払利息	2,518	2,645
為替差損	807	-
社債発行費償却	1,293	2,325
社債保証料	777	948
その他	14	-
営業外費用合計	5,411	5,919
経常損失(△)	△34	△18,179
特別利益		
固定資産売却益	428	-
特別利益合計	428	-
特別損失		
システム障害関連費用	12,165	-
構造改革費用	-	4,155
事業譲渡損	-	3,711
特別損失合計	12,165	7,866
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,770	△26,045
法人税、住民税及び事業税	6,067	32,457
法人税等還付税額	-	△4,925
法人税等調整額	△11,843	△6,409
法人税等合計	△5,775	21,123
四半期純損失(△)	△5,995	△47,169
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,995	△47,169

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△5,995	△47,169
四半期包括利益	△5,995	△47,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,995	△47,169

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

当社は、2022年9月28日開催の第17回定時株主総会の決議により、2022年9月30日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金1,084,883千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより欠損補填に充当しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が74,601千円、資本剰余金が1,516,995千円、利益剰余金が△72,569千円となっております。なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2023年11月13日開催の取締役会決議に基づき、投資単位当たりの金額を引き下げ、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を図ることを目的として、次のとおり株式分割を行っております。

(1) 株式分割の割合及び時期

2024年1月1日付で、2023年12月31日現在の株主名簿に記録された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

普通株式6,399,714株